

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：35502

学校名：北野学校

改訂のポイント

- 学校の学びが家庭の学びに結びつき、基礎的・基本的な知識および技能が身につくようにする。
- 思考力・判断力・表現力が身につくよう課題探求的な学習の視点を取り入れた授業と諸活動の工夫改善を図る。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆他者との協働を通して自分の考えを表現し、深めることができる生徒（「学ぶ力」の育成に向けた 5つのポイント②③） ☆学習の深まりを実感し、主体的対話的に学習に取り組む生徒（「学ぶ力」の育成に向けた 5つのポイント①④⑤）		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 授業や諸活動において目標を明確に提示し、意欲と達成感を高める工夫改善。	【成果】 ⇒授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとする生徒が増加傾向である。	【課題】 ◇「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある」の回答が前年度を下回っている。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 体験的な活動、言語活動、問題解決的な学習活動の中で、自己表現力を高める授業改善。	【成果】 ⇒「意見を書くときは、その理由をはっきりさせてかくようにしている」の回答が前年を上回っている。	【課題】 ◇「習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」の回答が前年度を下回っている。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 基礎基本の定着を図る指導方法と家庭での学習習慣を育成するための工夫。	【成果】 ⇒勉強で同じ間違いを繰り返さないように気を付けている生徒が増加傾向である。	【課題】 ◇「新しく習ったことは繰り返し練習している」は前年度を上回っているものの学年により差がある。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 他との協働を通して、自己表現力を伸ばし、主体的・対話的に学ぶための基礎・基本を育む学習指導		
	具体的な改善策（取組）	○生徒が興味・関心、疑問を十分にもてるような授業の工夫改善（授業づくりのセルフチェック1） ○体験的な活動、言語活動、課題解決的な学習活動を通して自己表現力を高める授業改善（授業づくりのセルフチェック4,5） ○授業や諸活動において、目標を明確に提示し、意欲と達成感を高める指導内容・方法の工夫（授業づくりのセルフチェック2） ○校内研修会において、新学習指導要領に即した各教科の課題探求的な学習を視点とした取組について交流し合い、研修を深める ○習熟度別少人数指導の工夫改善、長期休業中の学習会の実施 ○効果的なPDCAサイクル学習につながる「学習と活動の記録」と家庭との連携（さっぽろっ子「学び」のススメの活用） ○教科化に伴う「特別な教科道徳」の指導内容、方法の工夫と授業改善		
方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価基準に基づく学習状況結果の活用 ○全国学力状況調査や学力向上TSP（4月全学年実施）の調査結果等を活用 ○学習などについてのアンケート（札幌市全体の共通指標20項目）の活用 *全学年で4月、12月に実施		